

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月10日

事業所名 こども生活館おひさま

保護者等数(児童数)22名

回収数21

割合 95.4 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1				指定基準に従った広さを確保しています。活動によっては地域の施設や公園等も活用しています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20			1		職員の配置は基準より多く配置されています。職種は、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員などがおり、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理士などが定期的に来所し連携するとともに、児童の発達に関する話し合いをしております。状況に応じて医療機関への紹介・その後の連携も行っております。また、保育士・児童指導員は強度行動障害養成者研修を受けるなど日々専門性を研鑽しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20				1		室内の設備等は通所している子どもたちの現状に合わせて対応・改善を行っております。構造化に対しても、わかりやすく、それぞれの状況に合わせてカードや道具を用い工夫しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21						普段の掃除はもとより、感染症対策として、一日に数回、丁寧な清掃、消毒を心がけております。空調等にも快適に過ごすことができ、なおかつ季節に応じた温度を設定しております。
適切な 支援の 実施	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	21					基本的には年に2回・他に必要時、カンファレンスや発達検査の結果などを基に客観的に課題や伸ばしたい力を分析し、保護者とお話させて頂きながら計画作成を行っております。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21					計画内容は、本人を取り巻く環境を加味した支援計画となっており、周囲との協力体制を築きつつ、本人を支える機関が共通理解の上で支援ができるよう体制を整えています。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21					同意を頂いた計画内容を職員全体で周知し、支援を実施しています。	

提供	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	20			1	活動プログラムは、課題や状況に合わせて策定しています。見通しを持ち安心して過ごすことができるよう繰り返し行うものもあります。経過を観ながら、見通しが持てるようになったタイミングを図って、少しずつ変化を加えていくことで、状況の変化に対応する力や子どもたちの興味が広がるよう内容が固定されないための取り組みをしています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	1	1	7	前年に引きつづき、コロナ禍での交流は見合わせております。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21				運営規定は、契約時や変更時にわかりやすい資料をもとに説明しています。事業所入り口に掲示と閲覧できるように設置しております。利用者負担等の重要事項説明については、契約時の説明と共に書面でも確認できるように契約者にお渡ししております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	21				個別支援計画は支援内容を具体的に細かく記載しており、確認して頂きながら説明をさせて頂いております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	17			4	事業所では保護者支援として、「子どもの育ちについて」、「就学について」などの研修をさせて頂いております。ペアレントプログラムも毎年実施してはいたしましたが、今年度もコロナ禍でやむなく中止させて頂きました。次年度実施できるようまた準備を行ってまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21				普段の活動の様子などは連絡帳を用いて伝えさせて頂いております。必要に応じてお電話などでの連絡も行い、保護者様との情報の共有が出来るようにしております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21				定期的に面談を行っています。保護者様からの相談等も随時受け付けています。今後もご家族の皆様との関係構築を行うとともに、相談しやすい雰囲気作りを心がけて参ります。
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18			3	家族会やオヒサマルシエ等行っていますが、コロナ禍ということもあり、保護者様同士が情報のやりとりを十分にできる懇談会などの交流の場をもてる時間はあまり設定できておりません。今後、状況を見ながら、交流の機会を設定させて頂きたいと思っております。	

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20			1	迅速に対応できる体制は整っており、適切に対応できるようにしております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21				お子様が、どの場所でも安心して過ごすことができるよう、ご家庭や園とやりとりをしながら個々に応じた伝え方や促しを心掛けています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20			1	毎月のおたよりのほか、個人情報に配慮した上でSNSでもお伝えしております。また、自己評価表の結果はHPに公表しており、家族会などでもお伝えしております。また、事業所でいつでも閲覧できるようにしております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	18	1		2	鍵付きの書庫の使用やパソコンを使用する際のパスワード管理をしています。またSNSに関しても同意の上掲載させて頂いております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19			2	ご契約時や、家族会等でもマニュアルについての説明を行っております。避難訓練についてはおたよりで通知しております。感染症に関しては昨年に引き続き感染症予防、蔓延防止のため、マニュアルに沿った取り組みを致しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21				年2回の消防立会訓練と毎月、自主訓練を行っております。火災、地震、風水害、防犯など様々な場面を設定し、いざという時に子どもたちを、しっかりと守ることができるように努めています。今年度は、普通救命講習の更新研修を受講いたしました。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18	3			お子様が期待して楽しみに通所できるような活動を工夫しており、活動内容を、おたよりなどで知らせる事で自宅から見通しを持って通所できるようにしてます。通所開始直後は(母と)離れたくないという場面があることもありますが、気持ちが向かわない時には、そのお子さまに寄り添いながら支援を行っております。
	23	事業所の支援に満足しているか	21				普段から活動へのご理解とご協力、誠に感謝しております。今後も話しやすい雰囲気の皆様が安心してご利用いただけるように精進してまいります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。